

Ⅲ. 財務の概要

1. 事業の予算執行

平成 26 年度予算の執行にあたっては、従来に引き続き効率的な予算執行と節約に努めました。経常的事業以外に、26 年度に執行した新規事業の主なものは次のとおりです。

・ 5 号館空調設備改修	119,880 千円
・ IVIS Lumina XRM 設置	39,960 千円
・ 教務システム（カリキュラム対応）導入	31,246 千円
・ 大学ホームページ全面リニューアル	22,050 千円
・ 5 号館ホワイエロールカーテン取替	11,183 千円
・ ベンゼン池散策路整備	10,000 千円
・ 会計パッケージシステム導入	9,966 千円
・ 7 号館（学生会館）耐震工事	8,986 千円
・ 5 号館空調設備改修に伴う実験動物飼育外部委託	7,776 千円
・ 神戸薬科大学年史第三巻製作	7,575 千円
・ アイソトープ実験施設入退管理システム	7,106 千円

他

2. 法人会計決算

(1) 資金収支計算書（総括表）

収入面では、学生納付金収入・寄付金収入・補助金収入が見込額を下回りましたが、手数料収入・資産運用収入・事業収入・雑収入が見込額を上回ったことなどにより、総収入は 5,139 百万円とほぼ予算通りとなりました。

また、支出面では、経常経費に加え、5 号館空調設備改修工事等の支払いや、各種引当資金への積増し等も行いましたが、予算執行の見直しや経費節減に努めた結果、次年度繰越支払資金は対前年度比 140 百万円増の 1,303 百万円となり、前受金収入 410 百万円は十分カバーできる決算となりました。

(2) 消費収支計算書（総括表）

消費収支については、収入面では資金収支の内容を踏まえ、資金収入に現物寄付を加算計上した後、帰属収入から基本金組入額 454 百万円を控除し、支出面では資金支出に減価償却費等を加算しました。その結果、当年度の消費収支は 311 百万円の収入超過となり、前年度からの収入超過額 895 百万円を加え、翌年度への繰越収入超過額は 1,206 百万円となりました。

(3) 貸借対照表

資産総額は、有形固定資産において減価償却の進捗があり、第 2 号基本金を含む諸引当資金の積増などを行った結果、合計では 660 百万円増加し、24,126 百万円となる一方、負債総額は借入金の返却等から 105 百万円減少し、期末純資産額（資産総額－負債総額）は前年度に比べ 765 百万円（3.5%）増の 22,608 百万円となりました。

3. 財務運営の状況

当法人の過去5年間（平成22年度～26年度）の財務運営の状況及び主要財務比率は以下のとおりです。

- (1) 財務運営の状況
 - ・資金収支の状況
 - ・消費収支の状況
 - ・貸借対照表
- (2) 財務比率表
- (3) 財産目録